

# NO.274 そもそも資本市場とは？ ～ 資本市場の活かし方 ③ ～

2019年10月14日

あおぞら投信株式会社

## 「原則を ルールで縛る 限界に 自己規律という プリンシプルなり」

資本市場と言われたときにどのような“市場”を思い浮かべるでしょうか。狭義の資本市場とは、上場株式に絞られた資本市場を指しますが、広義の資本市場は、社債、バンクローン、市場型間接金融(シンジケート・ローン、投信)などを含めるものです。いずれにせよ資本市場は、発行体、投資家、流通供給者の3主体(マーケットの見方 NO.272 資本市場育成の心)に加えて、引受金融機関、清算・決済機関、さらに監査法人や弁護士などまで、幅広い参加者によって成り立っています。では資本市場を運営する大原則としては何が必要なのでしょうか。

世界に目を向けると、最大の資本市場を抱える米国では、ルール・ベースに従って運営されていると言えます。世界一の市場に対してもっとも多様な価値観の人々が参加しているため、明解なルールを必要としているのです。一方、英国では、プリンシプル・ベースの運営となっています。これは市場参加者には一定の規範意識があるということ为前提としており、クラブ社会の英国らしい考え方であると言えます。そして日本においては、これまでルール・ベースが基本とされてきたと言えると思います。すなわち、規制当局の示すルールに従うことが前提であったということです。ところが、市場関係者が内外に広がり、参加者の行動変化のスピードも加速してきた状況では、ルールと現実のギャップが生まれるケースも増えてきています。そのような時代に対応するためには、ルール・ベースを包み込むプリンシプルが求められているのです。これからは、ルールに情報開示が加わり、それを支える“規律”というものが、参加者自身に必須のものとなるのでしょうか。戦後の実業家である白洲次郎がプリンシプルを欠いてはいけないと述べたように、それは『筋を通す』ということであり現代に生きる言葉だと考えます。

※参考『資本市場とプリンシプル』佐藤隆文著 2019年

柳谷俊郎

### 「顧客本位の業務運営に関する原則」

### 「顧客本位の業務運営に関する原則」を採択し 取組方針を公表した金融事業者数

(令和元年6月末現在)

原則	取組方針	自主的なKPI*	共通KPI*	
原則1 顧客本位の業務運営に関する方針の策定・公表等	・都市銀行等	82	31	15
原則2 顧客の最善の利益の追求	・地方銀行、第二地方銀行 及びこれらの銀行持株会社	119	114	101
原則3 利益相反の適切な管理	・協同組織金融機関等 (除く J Aバンク)	259	104	56
原則4 手数料等の明確化	・協同組織金融機関等 ( J Aバンク)	220	81	26
原則5 重要な情報の分かりやすい提供	・保険会社等	369	159	2
原則6 顧客にふさわしいサービスの提供	・金融商品取引業者等	625	179	81
原則7 従業員に対する適切な動機づけの枠組み等	・銀行等代理業者	1	0	0
	・金融会社	1	0	0
	・その他	3	0	0
	(合計)	1,679	668	281

\* KPI : Key Performance Indicatorの略で、金融業界においては、顧客本位の業務運営の定着度合いを客観的に評価できるようにするための成果指標をいいます。

出所：金融庁の情報を基にあおぞら投信が作成。

本資料は情報の提供を目的としており、何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、本資料作成日現在の当社の見解であり、事前の予告なしに変更される事もあります。投資信託の取得に当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認の上、ご自身でご判断ください。

商号：あおぞら投信株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第2771号

加入協会：一般社団法人投資信託協会 ホームページ・アドレス：<http://www.aozora-im.co.jp/>